令和7年度　障害福祉アンケート

クロス集計・分析結果

令和7年度障害福祉アンケート クロス集計結果

調査機関：佐倉市　　有効回答数：1,105

設問 18　希望する暮らしを送るためには、どのような支援があればよいと思いますか。

n=1105(複数回答あり)

	あなた	家族	家族以外の介助者、支援者	合計
1. 在宅で医療的ケアなどが適切に得られること	223	97	1	321
2. 障害者に適した住宅の確保	238	154	9	401
3. 必要な在宅サービスが適切に利用できること	166	109	2	277
4. 生活訓練等の充実	57	87	1	145
5. 経済的な負担の軽減	392	183	5	580
6. 相談対応等の充実	216	106	3	325
7. 地域住民等の理解	218	134	5	357
8. コミュニケーションについての支援	99	72	4	175
9. その他	37	8	0	45
無回答	116	23	0	139
合計	1,762	973	30	2,765

n=1105(複数回答あり)

	18歳以下	19歳以上29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答	合計
1. 在宅で医療的ケアなどが適切に得られること	12	9	11	17	34	33	102	103	0	321
2. 障害者に適した住宅の確保	25	28	30	29	61	44	101	82	1	401
3. 必要な在宅サービスが適切に利用できること	16	15	14	11	31	33	85	71	1	277
4. 生活訓練等の充実	21	19	13	6	16	19	26	24	1	145
5. 経済的な負担の軽減	45	50	57	63	99	82	108	70	6	580
6. 相談対応等の充実	22	37	27	39	59	33	55	50	3	325
7. 地域住民等の理解	23	26	23	22	44	44	93	80	2	357
8. コミュニケーションについての支援	18	25	23	18	27	19	24	20	1	175
9. その他	2	4	5	5	6	9	9	5	0	45
無回答	3	6	3	11	10	22	45	36	3	139
合計	187	219	206	221	387	338	648	541	18	2,765

【備考】
ほとんどの世代の方が、「経済的な負担の軽減」を選択している。(前回と同様)

設問 21　あなたは、福祉サービスに関する情報を誰（どこ）から入手していますか。（あてはまるものすべてに○）

n=1105(複数回答あり)

	あなた	家族	家族以外の介助者、支援者	合計
1. 家族や親せき、友人・知人	258	156	4	418
2. 勤務先の上司・同僚	20	4	0	24
3. テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	116	16	0	132
4. インターネット	189	49	0	238
5. 市や県の広報、パンフレット	261	47	1	309
6. 公民館などの公開講座	9	0	0	9
7. 福祉団体・サークルなど	17	10	0	27
8. かかりつけの医師や看護師、病院のケースワーカー	172	58	0	230
9. 社会福祉協議会	35	5	0	40
10. 介護保険のケアマネージャー	63	57	2	122
11. 民生委員・児童委員	8	1	0	9
12. 通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生	4	40	0	44
13. 相談支援事業所（アシスト、きらり、レインボー、こもれびさくら、かけはし など）	56	72	2	130
14. 市役所（障害福祉課、健康管理センターなど）	231	100	2	333
15. 児童相談所、保健所、ハローワーク等の行政機関	15	3	1	19
16. その他	12	5	4	21
17. 特にない	97	25	0	122
無回答	30	11	0	41
合計	1,593	659	16	2,268

n=1105(複数回答あり)

	18歳以下	19歳以上29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答	合計
1. 家族や親せき、友人・知人	36	41	32	29	47	42	97	91	3	418
2. 勤務先の上司・同僚	1	3	6	1	7	4	1	1	0	24
3. テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2	5	2	9	15	17	39	43	0	132
4. インターネット	15	29	28	26	42	36	43	15	4	238
5. 市や県の広報、パンフレット	9	9	13	21	32	47	94	82	2	309
6. 公民館などの公開講座	0	1	0	0	0	1	3	4	0	9
7. 福祉団体・サークルなど	2	2	2	4	4	4	6	2	1	27
8. かかりつけの医師や看護師、病院のケースワーカー	11	11	14	22	42	31	55	42	2	230
9. 社会福祉協議会	0	3	0	0	4	5	13	15	0	40
10. 介護保険のケアマネージャー	0	0	0	0	4	20	49	49	0	122
11. 民生委員・児童委員	0	0	0	0	2	1	2	4	0	9
12. 通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生	19	6	4	5	6	0	1	2	1	44
13. 相談支援事業所（アシスト、きらり、レインボー、こもれびさくら、かけはし など）	20	22	21	17	35	9	2	2	2	130
14. 市役所（障害福祉課、健康管理センターなど）	12	21	27	35	57	41	83	54	3	333
15. 児童相談所、保健所、ハローワーク等の行政機関	3	4	0	5	5	1	0	1	0	19
16. その他	1	1	4	2	5	2	3	3	0	21
17. 特にない	6	8	9	14	13	21	37	14	0	122
無回答	0	2	0	3	4	6	9	16	1	41
合計	137	168	162	193	324	288	537	440	19	2,268

【備考】
40～60歳代では、市が発信する媒体を情報源としている方が多い。

令和7年度障害福祉アンケート クロス集計結果

設問 25 外出する際に困ることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

n=1105(複数回答あり)

	あなた	家族	家族以外の介助者、支援者	合計
1. 電車やバスなどの交通機関が利用しづらい（駅やバス停が遠い、本数が少ない）	203	59	1	263
2. 電車やバスの乗り降りが困難	85	75	2	162
3. 障害者用駐車場が不備、または少ない	80	40	1	121
4. 道路や駅に階段や段差が多い	159	64	0	223
5. 歩道に問題が多い（狭い、障害物、誘導ブロックの不備など）	88	35	1	124
6. 点字・音声等の案内が少ない	10	1	0	11
7. 外出先の建物の設備が不便（通路、トイレ、エレベーター、案内表示など）	65	48	4	117
8. 身近な公園や歩道のベンチなど、休憩できる場所が少ない	110	24	0	134
9. 緊急時の対処法がわからない	84	75	0	159
10. 外出するためには、たくさんお金がかかる	115	35	1	151
11. 障害を理由に利用を断る施設がある	4	3	0	7
12. 周囲の目が気になる	67	39	2	108
13. 騒音が苦手	91	46	0	137
14. 介助（支援）者がいない、または不足している	33	31	3	67
15. その他	45	21	0	66
16. 特にない	240	48	1	289
無回答	41	18	0	59
合計	1,520	662	16	2,198

n=1105(複数回答あり)

	18歳以下	19歳以上29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答	合計
1. 電車やバスなどの交通機関が利用しづらい（駅やバス停が遠い、本数が少ない）	14	8	24	24	28	33	75	55	2	263
2. 電車やバスの乗り降りが困難	14	7	8	7	18	20	42	46	0	162
3. 障害者用駐車場が不備、または少ない	8	2	9	8	17	22	31	24	0	121
4. 道路や駅に階段や段差が多い	10	4	12	9	21	38	69	60	0	223
5. 歩道に問題が多い（狭い、障害物、誘導ブロックの不備など）	10	7	6	4	11	27	28	31	0	124
6. 点字・音声等の案内が少ない	0	1	1	0	4	0	3	2	0	11
7. 外出先の建物の設備が不便（通路、トイレ、エレベーター、案内表示など）	14	4	7	5	15	17	34	21	0	117
8. 身近な公園や歩道のベンチなど、休憩できる場所が少ない	2	3	4	11	17	12	48	37	0	134
9. 緊急時の対処法がわからない	13	26	17	18	19	21	19	25	1	159
10. 外出するためには、たくさんお金がかかる	5	14	16	20	31	20	28	16	1	151
11. 障害を理由に利用を断る施設がある	3	0	0	0	3	0	0	1	0	7
12. 周囲の目が気になる	14	18	16	18	13	12	8	5	4	108
13. 騒音が苦手	20	23	26	22	18	16	3	5	4	137
14. 介助（支援）者がいない、または不足している	7	9	7	5	11	7	9	12	0	67
15. その他	2	6	9	8	8	7	11	14	1	66
16. 特にない	9	24	18	25	54	42	71	44	2	289
無回答	1	2	3	3	4	8	17	21	0	59
合計	146	158	183	187	292	302	496	419	15	2,198

【備考】
おもに60歳代以上の方は、移動経路や交通機関について、困りごとが多い。

設問 35 火事や地震等の災害時に困ることや不安なことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

n=1105(複数回答あり)

	あなた	家族	家族以外の介助者、支援者	合計
1. 被害状況、避難場所などの情報が入手できない	165	106	3	274
2. 助けを求めるのがむずかしい	148	138	4	290
3. 介助してくれる方がいない	71	67	5	143
4. 周囲の人が、あなたが介助・支援を必要であることを知らない又は気づいていない	157	74	4	235
5. 周囲とコミュニケーションが取れない	88	115	4	207
6. 安全なところまで迅速に避難することができない	143	149	4	296
7. 避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安	313	146	4	463
8. 大勢の人の中で避難所生活をすることに不安がある	311	167	7	485
9. 病院に行けず、医療を受けられるかわからない	259	101	3	363
10. 投薬や治療が受けられない、福祉用具など必要なものが手に入らない	272	108	3	383
11. 特に思いつかない	130	27	4	161
12. その他	29	14	0	43
無回答	63	22	0	85
合計	2,149	1,234	45	3,428

n=1105(複数回答あり)

	18歳以下	19歳以上29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答	合計
1. 被害状況、避難場所などの情報が入手できない	23	20	24	24	45	35	51	51	1	274
2. 助けを求めるのがむずかしい	28	29	34	26	42	33	45	50	3	290
3. 介助してくれる方がいない	11	8	9	7	28	17	27	35	1	143
4. 周囲の人が、あなたが介助・支援を必要であることを知らない又は気づいていない	14	17	24	22	44	24	41	45	4	235
5. 周囲とコミュニケーションが取れない	25	32	32	24	28	17	22	25	2	207
6. 安全なところまで迅速に避難することができない	29	23	17	23	35	36	68	63	2	296
7. 避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安	27	35	32	42	51	61	119	90	6	463
8. 大勢の人の中で避難所生活をすることに不安がある	32	39	49	53	70	66	90	79	7	485
9. 病院に行けず、医療を受けられるかわからない	13	21	36	47	55	45	76	67	3	363
10. 投薬や治療が受けられない、福祉用具など必要なものが手に入らない	16	20	30	42	68	58	82	64	3	383
11. 特に思いつかない	6	14	15	18	16	18	42	31	1	161
12. その他	3	3	4	6	4	3	13	7	0	43
無回答	2	0	4	5	3	13	26	32	0	85
合計	229	261	310	339	489	426	702	639	33	3,428

【備考】
災害時については、避難場所での生活に不安がある方が多い。

令和7年度障害福祉アンケート クロス集計結果

設問 38　障害のある方が働くためには、どのようなことが必要だと思いますか。（特にあてはまる3つの番号を回答欄に記入）

n=1105（特にあてはまる3つの番号を回答欄に記入）

	あなた	家族	家族以外の介助者、支援者	合計
1. 通勤手段の確保	97	53	3	153
2. 勤務場所におけるバリアフリー等の配慮	40	10	2	52
3. 短時間勤務など勤務日数等の配慮	137	44	0	181
4. 勤務時間や日数が体調に合わせて 変更できること	179	47	2	228
5. 在宅勤務の拡充	72	20	0	92
6. 職場の障害者理解	189	74	4	267
7. 職場で介助や援助がうけられること	35	48	4	87
8. 具合が悪くなった時に気軽に通院できること	95	20	1	116
9. 就労後のフォローなど職場と支援機関の連携	56	31	1	88
10. 企業ニーズに合った就労訓練	22	7	0	29
11. 職場外での相談対応、支援	53	15	1	69
12. その他	10	7	0	17
無回答	414	140	3	557
合計	1,399	516	21	1,936

n=1105（特にあてはまる3つの番号を回答欄に記入）

	18歳以下	19歳以上29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答	合計
1. 通勤手段の確保	4	21	23	30	38	29	5	2	1	153
2. 勤務場所におけるバリアフリー等の配慮	1	4	9	6	16	14	0	2	0	52
3. 短時間勤務など勤務日数等の配慮	6	19	25	34	43	40	6	4	4	181
4. 勤務時間や日数が体調に合わせて 変更できること	7	25	35	39	68	36	9	5	4	228
5. 在宅勤務の拡充	3	8	13	14	24	21	4	4	1	92
6. 職場の障害者理解	9	47	48	57	65	31	7	2	1	267
7. 職場で介助や援助がうけられること	7	14	18	12	18	10	4	4	0	87
8. 具合が悪くなった時に気軽に通院できること	0	12	19	23	35	22	2	3	0	116
9. 就労後のフォローなど職場と支援機関の連携	6	16	15	18	18	10	3	1	1	88
10. 企業ニーズに合った就労訓練	1	6	4	5	6	3	2	2	0	29
11. 職場外での相談対応、支援	1	14	13	13	21	6	0	1	0	69
12. その他	1	2	4	3	4	3	0	0	0	17
無回答	0	5	3	12	18	61	243	210	5	557
合計	46	193	229	266	374	286	285	240	17	1,936

【備考】
職場に求めることは、40歳代以下では、「障害者理解」、50歳代以上では、勤務形態（勤務時間）に関することが多い。

設問 40　障害のある人が地域や社会に積極的に参加していくためには、どのようなことが大切だと考えますか。
（特にあてはまる3つの番号を回答欄に記入）

n=1105（特にあてはまる3つの番号を回答欄に記入）

	あなた	家族	家族以外の介助者、支援者	合計
1. バリアフリー化などによる施設の整備、改善	269	92	1	362
2. 公共交通機関のバリアフリー化や道路の整備、改善	260	81	3	344
3. 障害者への理解を深めるための啓発や教育の充実	277	141	5	423
4. 参加を支援するボランティアなどの育成、充実	123	93	3	219
5. 障害があっても参加しやすい活動やイベントの充実	304	147	8	459
6. 家族の積極性	118	71	1	190
7. 障害者自身の積極性	323	103	2	428
8. その他	26	9	1	36
無回答	116	36	1	153
合計	1,816	773	25	2,614

n=1105（特にあてはまる3つの番号を回答欄に記入）

	18歳以下	19歳以上29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答	合計
1. バリアフリー化などによる施設の整備、改善	16	16	26	25	35	64	99	81	0	362
2. 公共交通機関のバリアフリー化や道路の整備、改善	20	16	21	32	34	50	105	65	1	344
3. 障害者への理解を深めるための啓発や教育の充実	31	48	50	56	70	52	63	50	3	423
4. 参加を支援するボランティアなどの育成、充実	14	22	21	31	35	19	41	34	2	219
5. 障害があっても参加しやすい活動やイベントの充実	36	39	48	48	75	54	83	74	2	459
6. 家族の積極性	22	21	15	18	25	21	39	28	1	190
7. 障害者自身の積極性	17	34	30	39	62	55	94	93	4	428
8. その他	1	1	4	4	6	5	8	7	0	36
無回答	1	3	3	7	13	20	55	48	3	153
合計	158	200	218	260	355	340	587	480	16	2,614

【備考】
19歳以上～40歳代では、「障害理解促進・教育の充実」が大切だと感じている方が多かった。

令和7年度障害福祉アンケート クロス集計結果

設問 50　（就学後在学中の方への質問）
今後、どのような進路を希望しますか。（特にあてはまる3つの番号を回答欄に記入）

n=44(複数回答あり)

	あなた	家族	家族以外の介助者、支援者	合計
1. 企業等で一般就労したい	4	16	0	20
2. 障害のある人の雇用が多い事業所で働きたい	1	12	1	14
3. 職員等の指導員の支援を受けながら働くことのできる事業所で働きたい	1	13	1	15
4. 一般就労に向けた支援を受けられる施設へ通いたい	1	4	0	5
5. 一般就労はむずかしいのでレクリエーションや創作活動等をする施設へ通いたい	0	9	0	9
6. 身体機能の訓練ができる施設へ通いたい	3	3	0	6
7. 自立に向けた訓練ができる施設へ通いたい	8	4	0	12
8. 職業訓練校へ通いたい	0	1	0	1
9. 大学や専門学校等へ進学したい	8	3	1	12
10. 自宅でできる仕事をしたい	7	0	1	8
11. 就労等の希望はない	2	0	0	2
12. 施設などへ入所したい	0	1	0	1
13. その他	1	1	0	2
14. わからない	4	7	0	11
合計	40	74	4	118

n=44(複数回答あり)

	18歳以下	19歳以上29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答	合計
1. 企業等で一般就労したい	14	4	0	1	0	1	0	0	0	20
2. 障害のある人の雇用が多い事業所で働きたい	13	0	0	0	0	1	0	0	0	14
3. 職員等の指導員の支援を受けながら働くことのできる事業所で働きたい	12	1	1	1	0	0	0	0	0	15
4. 一般就労に向けた支援を受けられる施設へ通いたい	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5
5. 一般就労はむずかしいのでレクリエーションや創作活動等をする施設へ通いたい	8	1	0	0	0	0	0	0	0	9
6. 身体機能の訓練ができる施設へ通いたい	0	0	0	1	0	0	2	3	0	6
7. 自立に向けた訓練ができる施設へ通いたい	1	0	2	2	0	1	5	1	0	12
8. 職業訓練校へ通いたい	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
9. 大学や専門学校等へ進学したい	0	1	1	2	1	2	4	1	0	12
10. 自宅でできる仕事をしたい	0	0	1	1	0	1	4	1	0	8
11. 就労等の希望はない	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
12. 施設などへ入所したい	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
13. その他	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
14. わからない	0	0	1	1	1	1	3	4	0	11
合計	52	8	7	10	4	7	20	10	0	118

【備考】
進路については、本人の意向と家族の意向に差が見られた。

設問 51　あなたは、日頃、差別や偏見、疎外感を感じることがありますか。（○は1つだけ）

n=1105

	あなた	家族	家族以外の介助者、支援者	合計
1. よく感じる	72	35	3	110
2. ときどき感じる	169	114	0	283
3. ほとんど感じた事はない	214	85	2	301
4. まったく感じた事はない	263	62	5	330
無回答	58	23	0	81
合計	776	319	10	1,105

n=1105

	18歳以下	19歳以上29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答	合計
1. よく感じる	5	14	15	20	25	14	12	3	2	110
2. ときどき感じる	25	34	38	48	40	36	35	24	3	283
3. ほとんど感じた事はない	17	10	20	13	38	44	82	73	4	301
4. まったく感じた事はない	11	18	10	18	34	45	106	88	0	330
無回答	3	2	1	5	7	7	24	32	0	81
合計	61	78	84	104	144	146	259	220	9	1,105

【備考】
50歳代以下は「ときどき感じる」、60歳代以上は「まったく感じたことはない」と別れた。

令和7年度障害福祉アンケート クロス集計結果

設問 52 あなたは、どのような時に差別や偏見、疎外感を感じましたか。(あてはまるものすべてに○)

n=1105(複数回答あり)

	あなた	家族	家族以外の介助者、支援者	合計
1. 学校やPTAなど教育の場	17	30	0	47
2. 仕事や収入面	158	53	0	211
3. コミュニケーションや情報の収集	82	26	2	110
4. スポーツ・趣味の活動	33	11	0	44
5. 家庭内	62	17	0	79
6. 近隣とのつきあい	70	36	0	106
7. 自治会や地区の行事などの集まり	39	17	3	59
8. スーパーや飲食店などでの接客、応対	51	52	2	105
9. 交通機関の利用時	103	52	3	158
10. 市役所等公共施設の利用時	35	13	0	48
11. 障害者施設や障害福祉サービス事業所	21	12	0	33
12. その他	30	19	0	49
無回答	156	66	1	223
合計	857	404	11	1,272

n=1105(複数回答あり)

	18歳以下	19歳以上29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答	合計
1. 学校やPTAなど教育の場	14	10	7	6	3	5	1	1	0	47
2. 仕事や収入面	9	30	35	43	45	31	13	3	2	211
3. コミュニケーションや情報の収集	6	18	12	20	16	13	12	11	2	110
4. スポーツ・趣味の活動	5	4	6	3	6	8	9	3	0	44
5. 家庭内	2	13	12	10	16	11	9	5	1	79
6. 近隣とのつきあい	6	5	13	20	19	17	17	9	0	106
7. 自治会や地区の行事などの集まり	1	4	8	5	10	10	11	9	1	59
8. スーパーや飲食店などでの接客、応対	11	10	15	19	15	11	14	8	2	105
9. 交通機関の利用時	7	10	20	14	26	26	32	22	1	158
10. 市役所等公共施設の利用時	2	5	4	4	16	4	7	4	2	48
11. 障害者施設や障害福祉サービス事業所	1	1	6	5	6	6	3	4	1	33
12. その他	5	5	9	4	6	4	6	10	0	49
無回答	10	4	7	14	16	26	72	71	3	223
合計	79	119	154	167	200	172	206	160	15	1,272

設問 53 あなたは、3年前と比べて、障害(者)に対する周囲の理解が進んでいると感じますか。(○は1つだけ)

n=1105

	あなた	家族	家族以外の介助者、支援者	合計
1. かなり進んでいると感じる	40	8	1	49
2. ある程度進んでいると感じる	200	70	0	270
3. 進んでいるとたまに感じる	139	77	0	216
4. 進んでいると感じた事はほとんどない	223	97	8	328
5. 進んでいない	73	26	0	99
無回答	101	41	1	143
合計	776	319	10	1,105

n=1105

	18歳以下	19歳以上29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答	合計
1. かなり進んでいると感じる	5	6	3	5	6	4	8	12	0	49
2. ある程度進んでいると感じる	12	19	17	19	32	30	67	70	4	270
3. 進んでいるとたまに感じる	18	11	23	30	26	26	50	31	1	216
4. 進んでいると感じた事はほとんどない	21	28	26	32	47	53	71	47	3	328
5. 進んでいない	3	8	12	12	23	15	16	10	0	99
無回答	2	6	3	6	10	18	47	50	1	143
合計	61	78	84	104	144	146	259	220	9	1,105

【備考】
3年前と比べて「進んでいると感じた事はほとんどない」という回答が最も多かった。

設問 54 あなたはご自身の障害について特に周囲に理解してほしいと思うことはなんですか。(○は1つだけ)

n=1105

	あなた	家族	家族以外の介助者、支援者	合計
1. 障害の特性について	229	91	1	321
2. 必要な配慮や支援	203	155	4	362
3. その他	20	6	0	26
4. 特に理解してほしいことはない	242	35	4	281
無回答	82	32	1	115
合計	776	319	10	1,105

n=1105

	18歳以下	19歳以上29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答	合計
1. 障害の特性について	18	34	32	46	52	46	55	36	2	321
2. 必要な配慮や支援	36	28	40	33	47	37	68	68	5	362
3. その他	0	3	1	3	4	3	8	4	0	26
4. 特に理解してほしいことはない	5	9	9	13	30	44	99	71	1	281
無回答	2	4	2	9	11	16	29	41	1	115
合計	61	78	84	104	144	146	259	220	9	1,105

令和7年度障害福祉アンケート クロス集計結果

設問 55　障害のある人にとって暮らしやすいまちづくりのためには、特にどのようなことが必要だと考えますか。（あてはまる3つの番号を回答欄に記入）

n=1105

	あなた	家族	家族以外の介助者、支援者	合計
1. 重度の障害がある人に対応した入所施設の充実	106	88	0	194
2. グループホームなどの生活の場の充実	58	79	4	141
3. いつでも気軽に相談できる相談窓口の充実	318	127	3	448
4. 必要な情報が入手しやすく、円滑な意思疎通ができるための施策の充実	163	47	1	211
5. 公共施設や公共交通などのバリアフリー化	103	29	0	132
6. 障害のある人が利用しやすい移動手段の充実	189	67	4	260
7. 就労の場の充実	169	58	0	227
8. 障害のある人が参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動の充実	50	23	4	77
9. 地震など災害時の支援体制の整備	189	79	0	268
10. 訪問医療・看護などの在宅支援サービスの充実	113	60	0	173
11. 療育・生活訓練・職業訓練などの通所支援サービスの充実	38	38	0	76
12. 夜間や緊急時における医療機関との連携	161	57	3	221
13. 障害についての理解の促進、差別的扱いや偏見をなくすための教育や広報活動の充実	128	57	3	188
14. 様々なボランティア活動の育成	21	8	2	31
15. その他	9	8	0	17
16. 特にない	54	5	1	60
無回答	78	19	1	98
合計	1,947	849	26	2,822

n=1105

	18歳以下	19歳以上29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答	合計
1. 重度の障害がある人に対応した入所施設の充実	15	11	17	16	18	23	50	43	1	194
2. グループホームなどの生活の場の充実	16	21	19	19	21	13	14	17	1	141
3. いつでも気軽に相談できる相談窓口の充実	21	34	36	49	61	56	105	83	3	448
4. 必要な情報が入手しやすく、円滑な意思疎通ができるための施策の充実	12	12	17	23	31	31	50	34	1	211
5. 公共施設や公共交通などのバリアフリー化	4	7	10	8	12	22	41	28	0	132
6. 障害のある人が利用しやすい移動手段の充実	12	10	19	18	31	33	73	62	2	260
7. 就労の場の充実	24	33	25	40	50	27	21	3	4	227
8. 障害のある人が参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動の充実	10	8	3	8	9	8	17	12	2	77
9. 地震など災害時の支援体制の整備	11	10	20	31	29	40	63	62	2	268
10. 訪問医療・看護などの在宅支援サービスの充実	7	5	5	10	16	16	57	57	0	173
11. 療育・生活訓練・職業訓練などの通所支援サービスの充実	18	15	11	5	11	6	7	3	0	76
12. 夜間や緊急時における医療機関との連携	11	9	15	9	24	30	66	57	0	221
13. 障害についての理解の促進、差別的扱いや偏見をなくすための教育や広報活動の充実	8	24	20	31	28	30	28	16	3	188
14. 様々なボランティア活動の育成	1	0	3	6	6	5	7	3	0	31
15. その他	2	1	3	2	2	2	3	2	0	17
16. 特にない	1	2	4	5	11	9	20	6	2	60
無回答	0	4	2	3	10	12	28	39	0	98
合計	173	206	229	283	370	363	650	527	21	2,822

【備考】
「いつでも気軽に相談できる相談窓口の充実」を求めている方が多かった。（前回と同様）

令和7年度 障害福祉アンケート結果からの考察

・ほとんどの世代の方が、「経済的な負担の軽減」を選択している。（前回と同様）

・４０～６０歳代では、市が発信する媒体を情報源としている方が多い。

・おもに６０歳代以上の方は、移動経路や交通機関について、困りごとが多い。

・災害時については、避難場所での生活に不安がある方が多い。

・職場に求めることは、４０歳代以下では、「障害者理解」、５０歳代以上では、勤務形態（勤務時間）に関することが多い。

・障害のある人が地域や社会に積極的に参加していくために大切なことについては、19歳以上～40歳代では、「障害理解促進・教育の充実」という回答が多かった。

・進路については、本人の意向と家族の意向に差が見られた。

・日頃、差別や偏見、疎外感を感じることがあるかという質問については、５０歳代以下は「ときどき感じる」、６０歳代以上は「まったく感じたことはない」と別れた。

・理解促進が３年前と比べて「進んでいると感じた事はほとんどない」という回答が最も多かった。

・障害のある人にとって暮らしやすいまちづくりのために、「いつでも気軽に相談できる相談窓口の充実」を求めている方が多かった。（前回と同様）